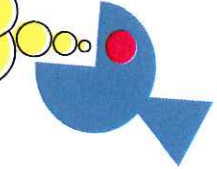




平成25年度水産庁国産水産物流通促進事業

「小学校おさかな学習会」開催希望校募集

ハロー、おさかな
もっと食べよう！



近年の、日本国民の水産物消費量は、魚介類が健康食と評価されているにもかかわらず、大きく減少しています。平成13年には年間の1人当り水産物消費量が40.2Kgでした。しかし、平成22年には29.5Kgとなり、9年間で10.7Kg、26.7%減少しました。一年平均1.2Kg、11%ずつ減り、一日あたりに換算すると29gの減少です。一般社団法人大日本水産会が実施した平成23年度水産物消費嗜好動向調査アンケート結果では、「健康に良い」「もっと魚を食べるようにしたい」と言う人は共に95%に達しました。

食べたいけれども消費が伸びない原因には、供給される水産物・製品が需要者、消費者のニーズにマッチングせず、「食べやすさ」「鮮度」「メニューへの利用」などの情報がうまく伝わらず、消費意欲を十分満たしていない、食卓まで届ける流れ、すなわち流通がうまく連携・機能せず、いわゆる「流通の目詰まり」が発生しているのではないか、この目詰まりを取り除き、水産物消費拡大を実現することが急務である、というのがこの流通促進事業の目的です。

私たちは、小学校のおさかな学習会を通じて、消費拡大、お魚をもっと食べていただく、活動を致します。

さあー、みなさん！
お魚をもっと食べたくなる
勉強をしてみませんか！

小学校おさかな学習会 実施要領

学習会とは:

学習会は以下の4つの項目からなります。

- (1)おさかな絵・短歌標語コンクール
- (2)おさかなゼミ
- (3)タッチプール
- (4)おかあさんと先生の調理教室
- (5)体験アンケート

(1)おさかな絵・短歌標語コンクール

(イ)学習会開催日の約1ヶ月前に、事前に生徒に図鑑を開く機会、魚の歴史に触れる機会を持ってもらい、魚を身近に感じ、当日の学習会をより楽しくしてもらうためのコンクールです。

(ロ)4年生以下の生徒にはお魚絵を、5年生以上には短歌標語を作ってもらいます。全員がお魚絵を競うこともできます。

(ハ)作品は各部門ごとに、事前に先生に金賞、銀賞を選んで頂き、開始式で校長先生が表彰し、金賞には金メダル、銀賞には銀メダルが授与されます。



(2)おさかなゼミ

- (イ)日本の海洋、資源、水産業、漁業、水産加工、さかなの栄養、おさかな調理メニューなどの紹介をして、魚を知る、食べることの大切さを学びます。
- (ロ)ゼミは多くの場合体育館を活用し、各学年ごと、あるいは2学年ごとのグループとなり行われます。それぞれの学年に分かりやすい言葉と内容で説明をします。
- (ハ)ゼミは前面に大型スクリーンを置き、パワーポイントとプロジェクターで教材画像を映写し説明、質問を受けながら行います
- (ニ)ゼミでは、漁業を感じる体験として、5Kgのカツオ模型を使用したカツオ一本釣りチャレンジ、模型魚を使用した投網体験、マグロ延縄枝縄模型・針に触る体験機会をつくります。
- (ホ)ゼミ時間は各学年または各クラス約40分程度(校内1時限授業時間程度)で行います。
- (ヘ)ゼミ講師は水産大学卒業漁船漁業経歴所有者、水産会社水産加工・流通業務経歴者、海外水産事業経歴者など幅広い水産事業経歴を有する方々を予定します。



【漁具模型体験】
(カツオの一本釣り)



(投網)



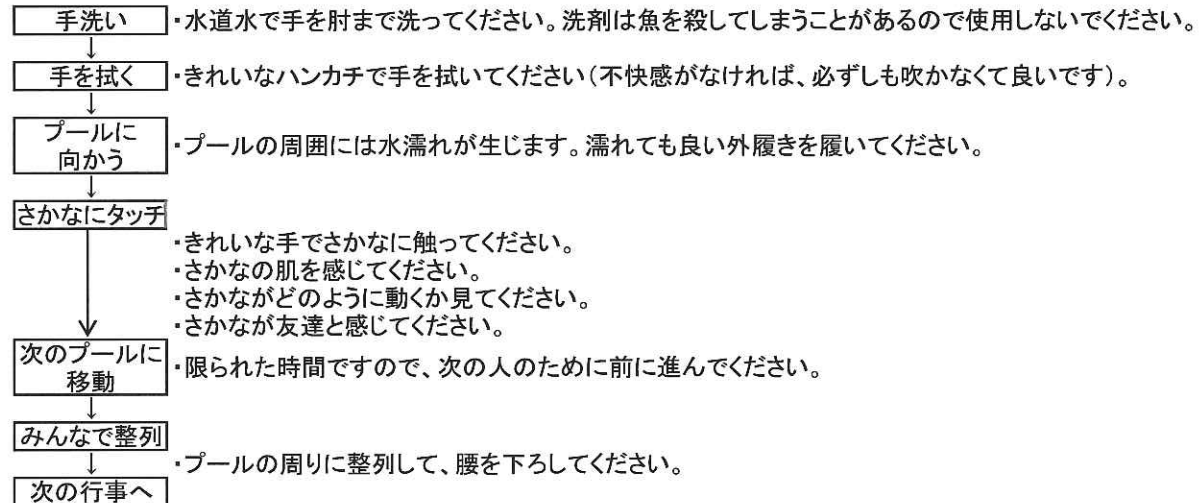
(マグロ延縄枝縄)



(3) タッチプール

- (イ) 各タッチプールには担当者を配置、プール内魚類の説明を行い、質問に答えます。
- (ロ) 生きた魚は三浦半島、湘南海域などの海から、学校に活魚トラックで輸送します。
- (ハ) 活魚トラックは8トン車、その車幅、車長、車高はそれぞれ約2.5m、8.0m、2.5mです。
- (ニ) 活魚を展示するプールはプラスチック製またはゴム製、サイズは概ね1.5m x 2.0m。プールの形は長方形、円形などがあります。深さは約30cm。
- (ホ) 生きた魚の生命維持のため、プール内への酸素供給、汚物除去を行うため、近くに電源、水源(水道蛇口)が必要です。

(ヘ) タッチプールへのアクセス



(ト) タッチプールの事後処理

- ・さかなの排出物がプールに溜まります。担当者が排出物を集荷します。出来れば廃棄をお願いします。
- ・展示中に魚が死んだ場合には、生ゴミとして処理をお願い致します。



- (4) おかあさんと先生の調理教室 (イ) 旬のさかなを、プロのシェフがさばき、みんながさばき、盛り付け、簡単メニューづくりのチャレンジをします。
 (ロ) 講師は築地市場での業務経験、寿司レストランシェフ経験、カリフォルニアレストラン、フランスレストラン、居酒屋経営などの実務体験者、寿司屋・居酒屋など向けに生鮮魚類を仕入れ、販売する事業者などから選びます。色々な魚物語、隠れた魚の裏話も聞くことができます。
 (ハ) 魚食文化の伝統も大事にします。一方で日々の惣菜をつくる主婦(主夫)目線で、家族のための惣菜調理も紹介します。
 (ニ) 参加者は自分で刺身づくり、魚の捌きを体験し、盛り付け、試食を行い、自作調理の美味しさを体験します。
 (ただし、自宅への持ち帰りについては各自の自己責任をお願いします)
 (ホ) 参加される方は自宅で使用している包丁、まな板を持参ください。それぞれの自宅個性を考えながら調理体験ができます。



(5) 体験アンケート

- (イ) 上級生生徒(4年生以上)と料理教室参加のおかあさんと先生には体験アンケートをお願いします。
 (ロ) 当日のアンケート—— 勉強できましたか? 明日からより多くの魚を食べることになりそうですか。
 (ハ) 後日アンケート—— 2-3か月後にご協力ください。その後魚食は増えましたか?

(6)当日開催時間(例)

行事	開始時刻	所要時間	場所	内容/対象者	準備項目	
					実施校	実施者
①イベント実行班学校着 ・おさかなゼミ班 ・タッチプール班	8:00		実施校		玄関解錠 体育館解錠 正面玄関解錠	
②生徒登校	8:30					
③生徒、教職員、実行班集合	8:45		体育館	開会式		
④オープニングセレモニー	8:50		体育館	教職員、生徒、実行者参		
(a)校長先生挨拶					校長先生	
(b)イベント実行員紹介						紹介
(c)絵画・標語優秀者表彰					校長先生より授与	金、銀メダル、賞状、参加賞の準備
⑤おさかなゼミ	9:10	各学年 45分	体育館	生徒全員、各学年ごと	音響システム、プロジェク ター、カセットデッキ、延長電 源コード、	PC、漁具模型、LAN延長ケーブルな ど
⑥タッチプール体験		30分		生徒全員、各学年ごと	手洗い場、排水溝確認	資材搬入(活魚ビニルプール、活魚、 ポンプなど) 活魚輸送車使用
⑦おかあさんと先生の調理教室	10:00 またはご希望 により午後開 催は可能で す。	2時間		父兄、教師	調理室準備(調理台、まな 板、水道)	調理士、調理助手、食材、つま、プラス チックトレー、割箸、わさび、醤油、ゴム バンドなど
⑧おさかなアンケート	終了後		4年生以上生 徒、教職員、PT Aに配布依頼、 後日回収	4年生以上、教職員、PT A、調理教室参加者	アンケート用紙配布、回収、 返送(着払い)	アンケート用紙準備、校長先生渡し。
⑨おさかなアンケート(成果確認用)	2-3ヶ月後		5年生以上生 徒、教職員、PT Aに配布依頼、 後日回収	5年生以上、教職員、PT A、調理教室参加者	アンケート用紙配布、回収、 返送(着払い)	アンケート用紙準備、校長先生渡し。

※総合終了は15:00ころが目途です。

「小学校おさかな学習会」開催希望校の募集

平成25年度水産庁国産水産物流通促進事業の一環として「小学校おさかな学習会」を実施致します。ただ今、実施希望校を募集しております。実施時期・詳細につきましては申込み受付後、ご相談をさせていただきます。申込みは別紙にてお願いを致します。

募集要領

- (1) 「小学校おさかな学習会」とは：(以下の4つからなります)
 - (イ) おさかな絵・短歌標語コンクール
 - (ロ) おさかなゼミ
 - (ハ) タッチプール
 - (ニ) おかあさんと先生の調理教室※終了後、体験アンケートを配布します。
- (2) 当日実施時間： 概ね各校の1日(終日)の授業時間を活用させていただきます。
※実施例は、http://fish-jfrca.jp/03/pdf/kokusan/sakana_ji.pdf にアクセスください。
※申込み受領後、実施にあたり詳細の打合せをさせていただきます。
- (3) 対 象 者： 小学校各学年(特殊学級も参加できます)
- (4) 募集締め切り： 10月31日(実施校数に達次第、締切らせて頂きます)
- (5) 実施校の決定： 申込みを頂いた後、詳細の打合せをさせて頂き、最終的な実施可否を決めさせていただきます。
- (6) 問 合 せ 先： 一般社団法人 大日本水産会 魚食普及推進センター
TEL 03-3585-6684 FAX 03-3582-2337 担当 宮本
Eメール miyamoto@suisankai.or.jp

**平成25年度 水産庁「国産水産物流通促進事業」
「小学校おさかな学習会」実施申込書**

※本おさかな学習会は、小学校が対象です。

申込書

1. 開催希望小学校名

校名			
所在地			
校長名			
連絡先	TEL:	FAX:	Eメール:
担当者名			

2. クラス数、生徒数など:

生徒数		クラス数	男子数	女子数	(合計)
	1年生				
	2年生				
	3年生				
	4年生				
	5年生				
	6年生				
	支援クラス1				
	支援クラス2				
	支援クラス3				
	(合計)				

3. 通常の時間割情報:

時間割	時限項目	開始	終了

【注】

時限項目には、朝礼、各授業時間、昼食、清掃、下校時間などの記入をお願い致します。

4. 希望事項、質問など: